

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： 人工軽量骨材(メサライト、カルグリ、カルグリG、カルドライ、メサマルチ)
 会社情報
 会社名： 日本メサライト工業株式会社
 住所： 千葉県船橋市西浦3丁目9番2号
 担当部署： 営業部
 電話番号、FAX番号： (TEL) 047-431-8138 (FAX) 047-431-2464
 緊急連絡先： 上記に同じ
 推奨用途及び使用上の制限： コンクリート骨材、盛土材、地下タンク充填材、土壌改良材、ろ過材、植栽用、排水用、アスファルト混合用
 作成日、改定日： 作成日 2015年3月2日
 改定日 2018年3月23日

2. 危険有害性の要約

GHS分類： 人工軽量骨材としての有害性データは無し。
 健康に対する有害性： 微量含有の結晶性石英は発がん性を示す物質として分類：区分1A、特定標的臓器(反復ばく露)：区分1(呼吸器系、腎臓)
 物理化学的危険性： 不燃性で危険性は特にない。

GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険
 危険有害性情報： 発がん性のおそれ、長期にわたる又は反復ばく露による臓器(呼吸器系)の障害のおそれ。
 注意書き： **【安全対策】**
 粉じんを吸引しないこと。
 粉じんを長期にわたり肺に吸引すると、じん肺になる恐れがあるため、防じんマスクを着用すること。
 眼を傷つける恐れがあるため、保護メガネを着用することが望ましい。
【応急処置】
 吸入した場合は、新鮮な空気を吸うこと。
 眼に入った場合は、眼をこすらずに水でよく洗浄すること。
【廃棄】
 廃棄物の処理および清掃に関する法令に基づき廃棄を行う。
 他の危険有害性： 眼に入った場合に一時的刺激や異物感、吸入した場合に咳き込みや鼻喉への刺激を与える場合がある。

3. 組成及び成分情報

単一製品/混合物の区分： 混合物
 一般名： 膨張頁岩(頁岩の高温熱処理品：1120℃以上で焼成・膨張)
 材質： 約95%はシリカ系のガラス質(非晶質)で構成され、その他は約2%が長石系の固溶体、残りは鉄系ケイ酸塩系や石英のガラス質及び結晶質で構成されているものと推定される。

<p>組成(成分)(酸化物換算):</p> <p>CAS No.:</p> <p>※組成元素(酸化物表示)であるSiO₂(シリカ)、Al₂O₃(酸化アルミニウム)、CaO(酸化カルシウム)及び(Fe₂O₃+FeO)(酸化鉄)は単独では存在せず、各成分の固溶体として主にガラス(非結晶性)を構成しており、メサライト組織中での状態を示すものではないと考えられる。</p>	<p>※主成分: SiO₂(70%), Al₂O₃(15%), (FeO+Fe₂O₃)(5%)</p> <p>残成分: CaO, MgO, K₂O, Na₂O等</p> <p>14808-60-7(石英)</p>
<p>4. 応急措置</p> <p>眼に入った場合:</p> <p>皮膚に付着した場合:</p> <p>吸引した場合:</p>	<p>擦らず、直ちに清浄な流水で十分に洗眼する。刺激が止まらない時は医師の診断、手当を受けること。</p> <p>水と石鹼で洗い、流水で十分洗い流す。</p> <p>水又は温水でうがいをし、鼻をかんで粉塵を取り除く。症状が続く場合は医師の診断、手当を受けること。</p>
<p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤:</p> <p>特有の危険有害性:</p> <p>特有の消火方法:</p>	<p>この製品自体は不燃性である。周辺の火災に応じた消火剤を使用する。水または消火剤で消火する。使ってはならない消火器の情報はない。</p> <p>情報なし。</p> <p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。 (容器材質であるビニール及びフレコンバックは可燃物)</p>
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項:</p> <p>環境に対する注意事項:</p> <p>回収、中和:</p> <p>その他:</p>	<p>適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触および吸入を避ける。</p> <p>大量に流出した場合、散水して粉塵の飛散を防止する。</p> <p>真空掃除機で吸引するか、濡れたモップ等で拭き取る。回収後は飛散防止のため、空容器や袋等に詰めて、産業廃棄物として法令に基づき処理する。</p> <p>ガラス質のため、物品表面に傷が残る危険がある。それが品質上の問題となる時は散水で十分に洗い流す。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p> <p>技術的対策:</p> <p>安全取扱い注意事項:</p> <p>保管</p> <p>技術的対策:</p> <p>保管条件:</p>	<p>本製品を取り扱う場合、適切な保護具を着用する。</p> <p>飛散した骨材の上を通行する場合、滑り易いので十分注意する。</p> <p>絶乾品及び低含水量品を扱う場合は粉塵が出るので、防塵マスク・防塵メガネ・手袋等の保護具を着用する。</p> <p>①湿状品～骨材の表層が常に一様の湿潤状態になるように、できれば散水装置を取り付けて、骨材の照りが消滅しない程度に養生する。</p> <p>②低含水量品及び絶乾品～発塵し易いので荷姿はフレコン詰めやビニール詰めを推奨する(バラ荷は発塵防止対策としてシート掛けをする)。</p> <p>①湿状品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粗骨材: 水はけが良く、日照、風当たりの少ない所で、ごみ、泥など有害物の混入を防ぎ易い所に保管する。骨材の表層が常に一様の湿潤状態になるように養生する。 ・細骨材: 過度な散水は避け、表面が乾かないように養生する。

容器包装材料:	②低含水品及び絶乾品～風雨等にさらされないように配慮する。バラ荷は発塵を防止するためにシート掛け等で発塵を防止する。 フレコンバックを屋外で特段の養生をせずに保管する場合の使用期限は3か月とする。ビニール梱包品は破らないよう、また火気に近づけないよう注意する。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度:	データ無し
許容濃度:	データ無し
設備対策:	低含水品及び絶乾品については局所排気装置の使用が望ましい。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態、形状、色など:	茶又は茶褐色の粒状もしくは砂状
臭い:	無臭
PH:	約8(10%水分散液)
比重(密度):	約1.29 g/cm ³
融点:	データ無し(1200℃以上と推測される)
溶媒に対する溶解度:	データ無し(水に難溶)
引火点、爆発範囲:	引火性～不燃性、(粉塵)爆発性～無し
自然発火温度、分解温度:	自然発火及び水との反応性～無し
10. 安定性及び反応性	
安定性:	安定である
危険有害反応可能性:	通常の手扱いは安定である
避けるべき条件:	湿状品については凍結及び乾燥
混触危険物質:	データ無し
危険有害な分解生成物:	データ無し
11. 有害性情報	
急性毒性(LD ₅₀):	経口: データ無し 経皮: データ無し 吸入: データ無し
皮膚腐食性・刺激性:	データ無し
眼に対する重篤な損傷、刺激性:	データ無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データ無し
生殖細胞変異原性:	データ無し
発癌性:	発がん性あり(結晶性石英)
生殖毒性:	データ無し
特定標的臓器/全身毒性:	データ無し
吸引性呼吸器有害性:	データ無し
12. 環境影響情報	
起こりうる環境情報・生態毒性:	データ無し
残留性・分解性:	データ無し
生物蓄積性:	データ無し
土壌中の移動性:	データ無し

13. 廃棄上の注意	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそちらに委託して処理する。
14. 輸送上の注意 ・ダンプトラックでは風雨、日照等の影響を避ける為にシート掛けをする。 フレコンバック、ビニール袋の重ね積みには十分注意し、袋を破損させないように注意する。漏れがないことを確かめ、転倒・落下・破損のないよう積み込み、荷崩れに注意する。 海上規制情報： 特段の規制なし 航空規制情報： 特段の規制なし 国内規制 陸上規制情報： 特段の規制なし 海上規制情報： 特段の規制なし 航空規制情報： 特段の規制なし 国連番号： なし 国連分類： 非該当	
15. 適用法令	化学物質排出把握管理促進法： 非該当 化管法及び労働安全衛生法： 化管法第14条に規定するSDS制度の対象となる化学物質は、「第一種指定化学物質」及び「第二種指定化学物質」として定義されている。具体的には、人や生態系への有害性(オゾン層破壊性を含む)があり、環境中に広く存在する又は将来的に広く存在する可能性があると認められる物質として、合計562物質が指定されている。メサライト製品(1120℃焼成品)は熱分析及びX線解析の結果から、約95%はシリカ系のガラス質(非晶質)で構成され、その他は約2%が長石系の固溶体、残りは鉄系ケイ酸塩系や石英のガラス質及び結晶質で構成されているものと推定される。 労働安全衛生法： 微量含まれると推定される石英の結晶質は 第57条の2、施行令第18条の2別表第9(政令番号 第312号) に該当 じん肺法： じん肺法施行規則(第2条に該当する粉じん作業) 毒物及び劇物取締法： 非該当 消防法： 非該当 化学物質管理促進法(PRTR法)： 非該当 船舶安全法： 非該当 航空法： 非該当 海洋汚染防止法： 非該当 モントリオール議定書： 非該当 ストックホルム条約： 非該当 ロッテルダム条約： 非該当

16. その他の情報

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。

記載内容のうち、含有量、物理化学的性質、等の値は、保証値ではありません。

注意事項等は、通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱いの場合はご配慮願います。

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、データ類が必ずしも完全ではないので、製品の取扱いには十分注意して下さい。新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。物理・化学的性質、危険・有害性に関しての内容は必ずしも十分ではなく、いかなる保証をなすものではありません。